

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 2日 更新

事務事業名		後期高齢者医療保険料賦課・収納事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名 可徳 精至
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名 仁田 真由美
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線) 2144
予算科目	会計後期	款 1	項 1	目 1	事業連番 11239 他	法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成20年4月より施行された後期高齢者医療制度は、75歳以上(一定以上の障害がある場合は65歳以上)の方を対象とした医療制度であり、都道府県ごとに全ての市町村が加入する広域連合が運営主体となって制度の運用を行う。市は保険料の収納事務や負担金の納付、窓口として各種申請書の受付・入力事務などの業務を行う。2年ごとに保険料率が改定され、平成24年度からは均等割が47,000円から47,900円へ、所得割率が9.03%から9.26%へ引上げられた。
【業務の流れ】	・被保険者の加入・脱退・資格変更の届出や保険証の交付 ・保険料納入通知書の作成、送付及び保険料の収納業務、給付に関する申請受付・入力処理及び広域連合への進達 ・熊本県後期高齢者医療広域連合への負担金の納付
【主な予算費目】	・需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金(広域連合納付金)、還付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	政権が変わったことによって平成25年に制度廃止の予定である。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	被保険者約5,500名を対象として、被保険者証の交付、資格異動時及び給付関係の各種申請の受付・入力処理、保険料の収納および広域連合への納付等を行った。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 今年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア 調定額	千円	被保険者数の増加
→ イ 各種申請の数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	後期高齢者医療被保険者(原則75歳以上の方)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 被保険者数 人
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・適切な医療給付を受けられるようにする。 ・保険料を確実に納付してもらう。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 各種申請等の誤処理件数 件
		→ イ 収納率 %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
保険料の確実な納付により、安定した制度の運営ができ、医療が適正に受けられる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
① 活動指標	ア	千円	324,121.9	337,186	368,000	351,997	390,000	405,000	0	0
	イ	件	2,561	2,812	3,200	2,909	3,450	3,700	0	0
② 対象指標	ア	人	5,205	5,396	5,600	5,540	5,800	6,000	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	件	10	11	10	6	10	10	0	0
	イ	%	99.22	99.61	100	99.1	100	100	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	62,621	65,009		66,374	73,000	73,000	73,000
		地方債	千円							
		その他	千円	332,654	344,526	368,277	352,540	375,208	380,000	380,000
		繰入金	千円			96,286		95,877		
	一般財源	千円	23,774	25,629	37	26,187	4,373	30,000	30,000	30,000
人件費	(A) 事業費計	千円	419,049	435,164	464,600	445,101	475,458	483,000	483,000	483,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	471,301	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	333	195	0	154	216	180	180	180
正規職員従事人数	人	7	5	7	3	7	7	7	7	
延べ業務時間	時間	1,924	1,985	1,924	1,290	1,924	1,924	1,924	1,924	
(B) 人件費計	千円	7,657	8,178	7,926	5,209	7,926	7,926	7,926	7,926	
トータルコスト(A)+(B)	千円	426,706	443,342	472,526	450,310	483,384	490,926	490,926	490,926	

事務事業名	後期高齢者医療保険料賦課・収納事務事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 目標収納率に達しなかった。 (目標値：99.7%、実績値：99.1%)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 収納対策に割くことができる時間が少なく、現在の配置人員数では目標達成が容易ではない。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正な人員配置と通常体勢での業務ができれば目標達成に近づけるのではないかと。ただ、滞納者の年齢到達により滞納額は増加の一途をたどっている為、今のところ現状改善を見込むのは難しいと思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費をあげているため削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 高齢化に伴い被保険者数の増加が見込まれるため、削減は困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 75歳以上の高齢者全ての人に医療を受ける権利があるため、おむねの公平性は保たれているが、保険料滞納者も医療を受けているため、完全に公平であるとはいえない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法で定められた制度であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						